

# 羊ヶ丘スラローム ニュース 2026年2月1日発行



2月例会は 10 日（火）モイワ半日例会、  
20-21（金土）カムイお泊まり例会です



## 私の趣味コーナー

升田樹理

### 時代小説にはまっています

ずっと趣味は読書でしたが、最近は時代小説にはまっています。理由はちょっと寂しいですが、文庫の新刊が多くて、買いやすいからのように思います。また作家さんも女性が多く、剣術物から暮らしのあれこれと多彩になり、ジェンダー平等のうねりも加わり、町人の女性の暮らしや生き方が描かれていて、わかりやすい。描かれる時代も戦国時代が多かったが、最近は江戸時代ちょうど大河ドラマの薦十が活躍する田沼意次や松平定信の時代。手打ちそば ウナギのかば焼き 天ぷらサツマイモなどが出てき始めたころ。着物も現代の浴衣や江戸小紋などが好んで着られるようになった。そんなことを考えて本を読み終え、たまたま入った物産展で、江戸小紋を目にしたとき、到底手に入るものではないがその素晴らしい仕事にとても幸せな気分になれるのです。

手稲例会（1月18日）

小島まゆみ

「私の右膝は一日持ち堪えてくれるのだろうか?」「皆さんに迷惑をかけるのでは・・・」

そんな不安が頭から離れず前夜はよく疲れませんでした。

参加者は10名。うち1名は斎藤さんの友人でポーランド人の「ベロニカさん」でした。

日本に来て3年とのことでしたが、日本語がペラペラでほつとしました。

基礎スキーというより、どんなコースも難なくこなす弾丸タイプで、シニア軍団と一緒に物足りなかつたのではないかでしようか。

午前一本目は、野尻指導員の講習で、今シーズンの課題である

①伸展加圧 ②3関節の平行移動（足首・膝・股関節）  
③迎え角の実習でした。

それぞれをスキー操作に連動させることで、身体や膝にかかる負担が少なくなるのではないかと私はとらえました。

この問題は私自身に大きく影響することで、今後も意識して滑りたいと思いました。その後頂上に向かいましたが、足元は無圧雪のモコモコ雪、次第にガスで視界も悪くなつたので、安全確保のため迂回し下まで降りました。

昼食後はオリンピアに移動。ハイランド頂上とは打って変わって晴れわたった空のもと気持ちよく滑ることができました。そのころにはすでに講習で学んだことは頭にくいつもの自分の滑りを楽しんでおりました。気がつけば、脚のハリも膝の痛みもありませんでした。要はオリンピアコースが私にとつて丁度いいのかなあんて思つております。（参加者9名+1名）